

# 山城小分校だより

2015.6.1 発行  
6月号  
市立甲府病院  
院内学級・内藤



市立甲府病院周辺の緑は鮮やかさを一層増してきました。今、病院の庭ではバラやツツジがきれいに咲いています。早いもので、1学期の半ばを過ぎました。本校では、5月に6年生が東京、神奈川、千葉方面に修学旅行に行きました。分校には3月以来在籍、サポートともいないので、分校の事務的な仕事のほかは本校に補欠授業に入ったり、その他児童指導をしたりしています。

## これまでの研修会で 学習したことから

### 病気なのだから学校を休むのはあたりまえ？

小中学校の長期欠席の子どもは19万7千人。そのうち約4万8千人(約22%)は病気による欠席です。さらにその他の理由を合わせると約7万人(約35%)という数に上ります。

体調が悪いときに、ゆっくり体を休めるのはあたりまえのこと。でも、入院していても教育は受けられます。

「病気なのだから学校よりも治療が優先。勉強させるなんてかわいそう。」という考えはもう過去の話なのです。

また、病気による欠席の中に、心の不調が潜んでいることがあります。心の不調が体の症状として表れること(心身症)がありますし、慢性疾患がある子どもの場合は、心の不調が体調の悪化につながることもあります。

病気による欠席が長引く、特定の曜日や行事などに欠席が集中する…。もしかしたら、子どもの心のSOSかもしれません。

## こころのケア

### 病気は体だけでなく心も痛みます

体調は悪くなさそうなのに元気がない  
感情の起伏が大きい  
がまんや無理をしすぎる

そんな様子が見られることはありませんか？

病気による生活規制を強いられる日々の中で、なぜ自分だけがという思い等から、こころが不安定になってしまうこともあります。つらい治療や入院生活の経験が、心の傷となっていることもあります。

体調を気遣う温かい言葉やさりげない配慮が、子どもの心を元気づけてくれます。

(出典 国立特別支援教育総合研究所)



## 6月の行事予定

日	曜日	分校行事・本校行事・関連行事	本校打合せ/出張
1	月	引渡訓練	○ ○
2	火		
3	水	校内研	○ ○
4	木	病弱特別支援連絡協議会	
5	金		○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火	音楽集会	
10	水	連合音楽会	○ ○
11	木	特別支援学級林間学校	
12	金	特別支援学級林間学校	○ ○
13	土	P T A バザー	
14	日		
15	月	職員会議	○ ○
16	火	甲教協	
17	水		○
18	木		
19	金	市教委訪問	○
20	土		
21	日		
22	月	校内研	○ ○
23	火		
24	水		○
25	木	心理検査法研修会	
26	金		○
27	土		
28	日		
29	月		○
30	火		

## ●心に残る言葉



「しあわせは、いつも自分の心が決める。」  
「一生勉強 一生青春」  
「木の芽がのびるのはやわらかいから」

相田みつをの言葉の中で、宝石のようにきらきら輝いていた言葉たち。心がちょっぴり疲れている時、元気をもらえる気がしませんか？